

日本英文学会第94回大会プログラム

時：2022年5月21日（土）・22日（日） * 前回の時間割から大きな変更あり
所：Zoomによるオンライン開催

第1日目 5月21日（土）午前

(Zoomへのアクセス方法に関しては、日本英文学会ウェブサイトの大会特設ページをご参照ください。)

研究発表 第1発表 午前9時50分～10時30分 第2発表 午前10時40分～11時20分
第3発表 午前11時30分～午後0時10分 第4発表 午後0時20分～1時00分

開会の辞

会長 服部典之

第1室

司会 京都大学名誉教授 丹羽隆昭

1. ナサニエル・ホーソーンのエクフラシス美学
The Blithedale Romance における写実と改変

慶應義塾大学大学院生 石川志野

2. 『アメリカン・モダニストの鉄道旅行』

東京都市大学教授 秋山義典

司会 兵庫県立大学教授 高橋綾子

3. Will the animals ever come back?
Parting and absence in W. S. Merwin's ecopoetics

上智大学非常勤講師 Damien French

司会 福島大学教授 高田英和

4. *Matilda* における「見えざる手」
共同体の再構築へ向けた Roald Dahl の意志

慶應義塾大学大学院生 中迫史音

第3室

司会 藤田医科大学准教授 中川聡

1. 動詞 threaten の繰り上げ動詞用法への通時の変化とその統語派生について

名古屋大学大学院生 笠井俊宏

2. 非定形 Ving 構文における動詞移動の歴史的発達
非定形 Ving と副詞の語順に焦点を当てて

愛知学院大学専任講師 杉浦克哉

司会 京都教育大学教授 児 玉 一 宏

3. Transitivity and the *get*-passive
oddities in the English grammar

大阪公立大学教授 Junichi Toyota

4. 【招待発表】

意味タグを利用した英語動詞の用法の半自動認識

UCREL Semantic Analysis System と Formal Concept Analysis を利用して

杏林大学准教授 黒 田 航

シンポジア (午前9時50分～午後1時00分)

第1部門

シェイクスピアとフェミニズムの受容

司会・講師	日本大学教授	阪 本 久美子
講師	東京工業大学准教授	小 泉 勇 人
講師	武蔵大学准教授	北 村 紗 衣
講師	筑波大学名誉教授	浜 名 恵 美

第3部門

英文学と〈仕事〉

司会・講師	立教大学教授	小 山 太 一
講師	上智大学教授	永 富 友 海
講師	京都大学准教授	南 谷 奉 良
講師	早稲田大学教授	小 野 正 嗣 (小説家・フランス文学)

午後

研究発表 第1発表 午後1時30分～2時10分
第3発表 午後3時10分～3時50分

第2発表 午後2時20分～3時00分
第4発表 午後4時00分～4時40分

第2室

1. 【発表なし】

司会 愛知県立大学教授 梶 原 克 教

2. “Felt Like a Usurper”

Their Eyes Were Watching God における混血女性の直毛と社会の不全

立教大学大学院生 萱 場 千 秋

3. “cross over”することができない過去

Moses, Man of the Mountain における歴史と民族

九州産業大学教授 志 水 智 子

司会 近畿大学教授 吉野 成美

4. 【招待発表】

もう一人の Edith Wharton

見い出された詩を読む喜び

京都大学名誉教授 水野 尚之

シンポジア (午後1時30分～4時40分)

第2部門

サイエンスと詩の弁明

ロマン主義文学にみる知の横断

司会・講師	福岡教育大学教授	後藤 美映
講師	帝京大学教授	木谷 巖
講師	中央大学教授	笹川 浩
講師	兵庫県立大学教授	大田垣 裕子

第4部門

ケアとディスアビリティの共同性

連帯のダイナミズムと相互依存の政治学に向けて

司会・講師	成城大学教授	木下 誠
講師	上智大学教授	小川 公代
講師	専修大学教授	河野 真太郎
講師	龍谷大学専任講師	有 蘭 真代 (社会学)

第5部門

サー・トマス・マロリー『アーサー王の死』のテキスト変容

印刷・出版・読者の視点から眺める500年の歴史

司会・講師	慶應義塾大学教授	不破 有理
講師	慶應義塾大学教授	徳永 聡子
講師	杏林大学教授	高木 眞佐子
講師	福岡女子大学名誉教授	向井 剛
コメンテーター	デ・モントフォート大学上級講師	加藤 誉子

第6部門

SMT下における Merge とその補助的操作について
pair-Merge から FORMSEQUENCE へ

司会・講師	九州大学助教	大塚知昇
講師	南山大学講師	林 慎将
講師	中京大学教授	野村昌司
講師	慶應義塾大学教授	北原久嗣

第12部門

英語読解力再考

『英語が読める』とはどういうことか？

司会	東京理科大学准教授	北和丈
講師	明星大学教授	笠原順路
講師	熊本学園大学教授	堀正広
講師	北海学園大学准教授	柁木貴之
講師	慶應義塾大学教授	横山千晶

第2日目 5月22日(日) 午前

研究発表 第1発表 午前9時50分～10時30分 第2発表 午前10時40分～11時20分
第3発表 午前11時30分～午後0時10分 第4発表 午後0時20分～1時00分

第4室

	司会 福島大学准教授	佐藤元樹
1. 副詞残置動詞句内省略の分析 VP省略・疑似空所化と比較して		
	東北大学大学院生	鈴木舞彩
2. 非名詞句主語の一致について		
	東北大学学術研究員	廣川貴朗
	司会 旭川医科大学准教授	戸塚 将
3. 補文標識とA移動 転写線上げ構文を通して		
	関西学院大学大学院生	西原菜月
4. that 痕跡効果に課される2つのEPPの要件		
	東北大学大学院生	柳澤國雄

第7室

司会 大東文化大学教授 宮 本 正 秀

1. 横たわりて天を仰ぐ

John Donne, *Devotions upon Emergent Occasions*における身体の姿勢

奈良女子大学大学院生 奥 西 豊 子

司会 龍谷大学教授 川 島 伸 博

2. アーサー王子とハムレット王子の「記憶の中のテーブル・ブック」

『妖精の女王』第一巻及び『ハムレット』に見る初期近代コモンプレイス学習法

津田塾大学助教 円 浄 ゆ り

司会 青山学院大学教授 山 本 真 司

3. 【招待発表】

リチャード・バーンフィールドとペトラルカ的ソネット連作

元東京農業大学教授 岩 永 弘 人

4. 【発表なし】

第9室

司会 都留文科大学名誉教授 窪 田 憲 子

1. *The Voyage Out*における Rachel Vinrace とピアノ演奏

武庫川女子大学大学院生 中 谷 紘 子

2. ルネサンスのテキスト

エリオットの糸、ペイターの糸

富山大学専任講師 須 田 久 美 子

司会 東北大学名誉教授 原 英 一

3. Thomas Hardy, *The Pursuit of the Well-Beloved* (1892) にみられる George Meredith 的 主 題

近畿大学教授 吉 田 朱 美

4. 【招待発表】

世紀末スラム小説におけるジェンダーと階級

ベザント、ギッシング、モリソン

大阪公立大学教授 田 中 孝 信

シンポジア (午前9時50分～午後1時00分)

第7部門

文学の潜勢力

分節を問う、生成を辿る

司会・講師	立教大学教授	新田啓子
講師	一橋大学教授	三原芳秋
講師	京都大学准教授	小林久美子
講師	一橋大学名誉教授	鶴飼哲 (フランス文学・思想)

第8部門

アメリカのモダニズム詩と現代

断絶と継続

司会・講師	椋山女学園大学教授	平野順雄
講師	青山学院大学准教授	来馬哲平
講師	京都大学特定講師	吉田亞矢
講師	大阪公立大学准教授	古賀哲男

第10部門

後期中英語文学テキストにおける phraseology

形式と表現の可能性

司会・講師	関西学院大学教授	谷明信
講師	仙台大学教授	鎌田幸雄
講師	三重大学名誉教授	西村秀夫
講師	明治大学准教授	狩野晃一

午後

研究発表 第1発表 午後1時30分～2時10分

第2発表 午後2時20分～3時00分

第3発表 午後3時10分～3時50分

第4発表 午後4時00分～4時40分

第5室・第6室

司会 明星大学教授 高橋和子

1. 早期言語教育が上級レベル EFL 学習者の言語運用能力に及ぼす影響

L1/L2教育の有無に焦点を当てて

兵庫県立大学大学院生 吉田安曇

司会 関西学院大学教授 塚田幸光

2. 【招待発表】

オンライン授業における対話と文学読解

The Things They Carried を Cerateau の言葉とともに読む

西南学院大学教授 藤野功一

司会 駒沢女子大学准教授 松山響子

3. 『終わりよければすべてよし』

地球中心説から太陽中心説への揺らぎの中で

学習院大学助教 大住有里子

4. 経済力か Englishness か

Englishmen for My Money におけるユダヤ商人の娘たちの選択

名古屋大学大学院生 奥山厚子

第8室

司会 日本体育大学准教授 市川純

1. *The Mortal Immortal* における生と不死のダブルバインド

Mary Shelley の短編小説を読み直す

武庫川女子大学大学院生 野間由梨花

司会 高知大学准教授 関良子

2. *La Belle Dame avec Merci?*

Revenge and the Formation of *Femme Fatale* in Swinburne's *Lochrine*

慶應義塾大学非常勤講師 Lilith Ayvazyan

司会 神戸市外国語大学教授 吉川朗子

3. 【招待発表】

「人間の時代」の Wordsworth

風景と造園

大阪大学教授 小口一郎

4. 【発表なし】

第10室

司会 大妻女子大学教授 吉川信

1. 「エヴリン」におけるアイルランド性への回帰と船乗りの帰還

熊本保健科学大学専任講師 田中恵理

2. 『ユリシーズ』を嗅ぐ

ブルームの嗅覚的放浪と帰還

関西外国語大学助教 宮原駿

- 司会 神戸市外国語大学准教授 大西 寿 明
3. イーヴリン・ウォーのユーゴスラビア駐留
Unconditional Surrender における戦争の現実

名古屋大学非常勤講師 有為 楠 香

4. 【招待発表】

- Margaret Atwood のフィクションにおける “life narrative”
The Handmaid’s Tale と *The Testaments* を中心に

愛知淑徳大学名誉教授 平 林 美都子

第11室

- 司会 明治大学教授 石 黒 太 郎
1. Sounding the World
Biophony and Geophony in Old English and Old Norse Literature

九州大学助教 Britton Elliott Brooks

2. OE *drihten, hlaford, hælend*
「神」にはどの語を選ぶのか

千葉大学名誉教授 小 倉 美知子

- 司会 静岡大学教授 久木田 直 江
3. Edmund of Abingdon, *Speculum* と俗信徒のための *vita mixta*

慶應義塾大学教授 松 田 隆 美

4. 【招待発表】

- 中英語詩に描かれた老齡の苦惱

Elde, Heye Louerd, thou here my bone, Herkne to my ron

関西大学教授 和 田 葉 子

シンポジア (午後1時30分～4時40分)

第9部門

アメリカ文学と植物表象

司会・講師 立教大学教授 舌 津 智 之
講師 広島大学名誉教授 伊 藤 詔 子
講師 九州大学准教授 高 野 泰 志
講師 明治大学准教授 山 本 洋 平

第11部門

方法論の深化は理論研究に何をもたらすか

自然言語処理と機械学習を用いた実証的な認知言語学の研究の可能性を探る

司会・講師	東京外国語大学准教授	大谷直輝
講師	甲南大学准教授	永田亮 (計算言語学)
講師	北海道大学教授	野村益寛
講師	広島大学准教授	町田章
コメンテーター	産業技術総合研究所研究チーム長	高村大也 (データの言語化)

特別シンポジウム 午後5時00分～7時00分

〈ポスト〉〈ウィズ〉コロナ時代の英語英米文学研究—デジタル・ヒューマニティーズに向けて

司会・講師	大阪大学名誉教授・関西外国語大学教授	服部典之
講師	慶應義塾大学教授	原田範行
講師	東京大学名誉教授・放送大学教授	野崎 歓 (フランス文学)
講師	東京大学教授	中村雄祐 (文化資源学)

閉会の辞

副会長 阿部公彦